

バリの民族音楽を演奏する大学生

もりした ちひろ
森下 千裕さん 22

インドネシア・バリの民族音楽「ガムラン」を演奏する静岡文化芸術大のクラブ「スアラ・チャンダ」メンバー。バリ舞踊を交えてガムランを広めている。「世界には西洋音楽以外にも音楽があることを伝えたい」

文化政策学部芸術文化学科

ガムランを知って



・おはよう・

三年。ピアノを専攻していた高校時代、出張授業で指揮者も楽譜もないガムランに出合った。「自分の視野が狭かったと衝撃を受けた」。大学入学と同時にガムランを始めた。

振り付けによって旋律が変わるなど、踊りと音楽が結び付いていることを学び、舞踊にも興味を持った。一年間、インドネシア国立芸術大学舞踊学科に留学。「一人が指示を出すのではなく、みんなで協力するのがバリの生活スタイル」。楽隊と息を合わせて公演に臨む。

「もっと人前で披露する機会をもって、多くの人にガムランを知ってほしい」。浜松市中区砂山町。(糸井絢子)

2018.10.11

中日新聞 (朝刊)